

## 令和 2 年度 第 3 回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和 2 年 11 月 27 日(金) 13 時 30 分から 14 時 10 分まで		
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階 会議室		
議 題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて		
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会長	沼口 諭
	委員	大垣市医師会副会長	竹中 清之
	委員	大垣市医師会理事	森 俊治
	委員	不破郡医師会副会長	古井 秀彦
	委員	大垣歯科医師会長	片野 雅文
	委員	大垣歯科医師会副会長	荻下 雅仁
	委員	大垣薬剤師会長	松本 正平
	委員	大垣市女性連合会長	竹中 昌子
	委員	岐阜協立大学看護学部准教授	馬場 貞子
公開区分	公開		
傍 聴 人	なし		
審議概要	<p><b>1. 報告事項</b></p> <p><b>(1)定例報告事項</b></p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニカルパス登録状況、⑦OMNet 利用状況について報告した。</p> <p>①紹介率……2 年 4 月～10 月:68.9% 逆紹介率……2 年 4 月～10 月:134.6%</p> <p>②地域連携予約診察件数…2 年 4 月～10 月計:6,675 件 地域連携予約検査件数…2 年 4 月～10 月計:660 件</p> <p>③開放型病床登録医数…2 年 10 月末:159 人(医科 130 人、歯科 29 人)、 利用率…2 年 4 月～10 月:11.4%</p> <p>④救急受診患者数…2 年 4 月～10 月計:18,184 人(月平均 2,598 人) 救急車利用件数…2 年 4 月～10 月計:5,161 件(月平均 737 件) 救急入院患者数…2 年 4 月～10 月計:1,759 件(月平均 251 件)</p> <p>⑤地域医療従事者に対する研修…2 年 4 月～10 月開催数:7 回、院外受講者 63 人</p> <p>* 輸血療法委員会、病診連携カンファレンス、糖尿病コメディカル研修会、院内感染防止対策委員会、薬剤師研修会 等</p> <p>市民対象講演会等…2 年 4 月～10 月開催数:2 回、院外受講者 29 人</p> <p>* 市民公開講座、糖尿病公開講演会</p> <p>⑥地域連携クリニカルパス登録状況…2 年 4 月～10 月登録総数 593 件</p>		

2 年 10 月末時点でのパス開始からの登録総数:10,010 件  
⑦OMNet 利用状況…2 年 10 月末時点の利用登録医療機関:115 機関  
診療情報閲覧に同意した患者総数:28,447 人

2)上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。

(委員)

救急も含めて外来の数が少なくなっているのはコロナの関係が大きいという考えでよいか。

(事務局)

そのように考えている。

(委員)

最近は元に戻りつつあると聞いているが救急外来の状況は。

(事務局)

救急は 4 月、5 月がかなり少なかった。一番の落ち込みは春先だった。

(委員)

救急外来に対する受診の考え方は変わってきていると考えた方がいいか。

(事務局)

ウォークインの患者の数が減っているということで、重症者は減っている印象はない。

(委員)

市民を対象にした研修等どうしてもコロナの影響で人が集まるのが難しい状況になっている。Zoom を使って病診連携カンファレンス等を開催されているが市民公開講座はなかなか難しいと思う。講演会に関してアイデア等はあるのか。

(事務局)

市民公開講座の参加者は比較的高齢の方が多いので Zoom での参加は難しいと考えている。参加定員は 50 名として開催している。資料はホームページにアップし、参加できなかった方々に見てもらえるようにしている。

(委員)

こうした会を望んでみえる方はいらっしゃると思うので、配慮、工夫しながら開催してもらえると嬉しい。

(委員)

循環器内科、胸部外科の逆紹介率は高いが理由はあるのか。

(事務局)

循環器内科等の割合が高いのは、パス等で連携をしている患者さんは年 1 回受診といった形でたくさんみえ、定期的に紹介状、検査結果を診療情報提供しているためと考えられる。胸部外科は新患で受診される方は少なく、循環器内科からの紹介等で患者さんが受診する。新患患者の分母が少ないため紹介すると逆紹介率は高くなる。

	<p>(2)紹介率向上への取り組みについて</p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <p>①令和 2 年度 4 月から 10 月までの患者さんからの電話予約実績件数は 313 件で、元年度同期間と比較して 150 件 32.4%の減少。地域別では大垣市の先生が 9 割以上を占めている。診療科別件数は歯科口腔外科が約 4 割を占めており、皮膚科、小児科の順となっている。</p> <p>②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和 2 年度 4 月から 10 月まで 33 件。診療科別としては、循環器内科が 51.5%、整形外科が 12.1%の順となっている。</p> <p>2)委員から、上記の報告について意見・質問はなし。</p> <p>2. その他</p> <p>(委員)</p> <p>オンライン診療をされている患者さんについて、どのようにオンライン診療を周知しているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>オンライン診療の周知はホームページ、外来の待合入った所に表示をしている。</p> <p>(委員)</p> <p>芭蕉ネットの在宅医療についても少しずつ数が増え、薬剤師、歯科医師と連携が取れるようになってきた。大垣市民病院でも診て頂きたい。</p> <p>市在宅医療・介護連携推進事業の人生会議部会において、ACP を大垣市の中でどうやって広めていくかということを考えているのでご協力をお願いしたい。</p> <p>(事務局)</p> <p>9 月から 11 月に医療機関の訪問を実施し、全部で約 220 件訪問したので報告させて頂く。</p>
次回開催	令和 2 年度第 4 回委員会は 2 月 5 日に開催予定とする。